

正食協会理事による講演会

「ココロの豊かさは食がつくる」

～正食生活術 生き方・考え方のヒントとして～

正食協会は、世界平和の実現をめざすオリンピック・イヤーの2012年3月3日(土)、「ココロの豊かさは食がつくる」というテーマでマクロビオティック・セミナーを開催します。講師は、農学博士の片野學理事長をはじめ、マクロビオティック界の第一線で活躍する岡部賢二、山村慎一郎両理事。いずれもふだん聴く機会の少ない人気講師3人が勢ぞろいして、マクロビオティックの魅力を縦横に語ります。

父岡田周三・初代会長の遺志を継いでマクロビオティックの啓蒙と発展に尽力した岡田定三会長が逝去されて早1年。最後の著書のタイトル「正食生活術 生き方・考え方のヒントとして」をサブテーマとして、マクロビオティックのさらなる発展に向けた貴重なセミナーで、同じ釜の飯を口にした者同士がつどうまたとない機会です。

ぜひ多くの方のご参加いただき、足元の食生活をもう一度見直すとともに、今なお困難な状況にある方々のお力となり、一人でも多くの方がより健全なこころとからだを養って、地域や日本、世界の安寧が訪れますことを祈念したいと思います。

「家族を内部被ばくから
守る食事法」



第1部

13:10~14:00

岡部賢二

(おかべ・けんじ)

大学在学中に渡米し、肥満の多さに驚いて「アメリカ社会のダイエット食品」をテーマに研究。日本の伝統食が最高のダイエット食品と気づいた後、正食と出会い、松岡四郎先生より指導を受ける。2003年、福岡県の田舎に移り住み、日本玄米正食研究所を開設。2005年にムスピの会を発足させ、講演や健康指導、プチ断食セミナーやマクロビオティックセミナーを九州各地で開催している。正食協会理事。

「これからの時代しなやかに
生きるための智慧」



第2部

14:00~14:50

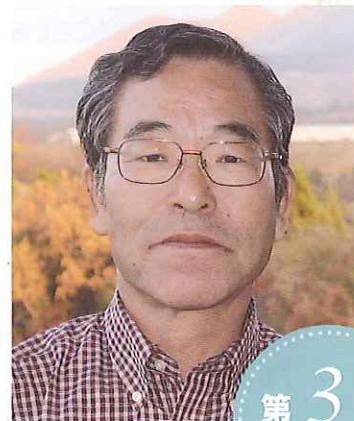
山村慎一郎

(やまむら・しんいちろう)

1949年岩手県生まれ。77年、岩手県山麓の雫石町で自然食品店を始め、80年に「盛岡マクロビオティックセンターいーはとーぶ」と改名、盛岡市に店舗を構える。99年に渡米しクシンスティテュートMCTを卒業。同市でゴーシュ研究所を設立して現在に至る。東京を拠点に、全国で食事指導や講演会などを中心に活動。ゴーシュ研究所はマクロビオティックの学校と代替医療の診療所、宿泊施設の設定を目指している。正食協会理事。

「食とみどり、水を守る」

～マクロビオティックから
農の世界へ、水と緑の大地へ～



第3部

15:20~17:00

片野學

(かたの・まなぶ)

1948年生まれ。東京大学農学部農業生物学卒業。東海大学農学部応用植物科学科作物学研究室教授。1980年に自然農法、1981年に玄米食に出会い「農→食→健康」の関連性の重要性に気づく。以降、食生活の実践と研究にいそむ。熊本在住。趣味は文芸、和芸。好きな言葉は「和顔愛語」「柳緑花紅」。正食協会理事長。

日時 2012年3月3日(土) 開場12:30 開会13:00

会場 大阪商工会議所・国際会議ホール(7F) 大阪市中央区本町橋2-8

定員 700人 全席自由 | 入場料 2,000円(税込) 事前申込みが必要です。申込み方法は裏面をご覧ください。

主催 正食協会 | 後援 ムソー株式会社 株式会社むそう商事

